

生活環境学科・情報メディア学科  
短大・生活造形学科および研究科大学院生の皆さんへ

皆さんは「これからの社会」を生きる世代です



生活環境学部長/同研究科長  
三好 庸隆(みよし・つねたか)

皆さん、お元気ですか？

遠隔授業になれてきましたか？

特に一年生の皆さんは、大学に行くことのない日々で、不安感がさぞかし大きいことでしょう。卒業および修了学年の人は、本当に卒業・修了できるのかと不安があることと思います。皆さん、何としてでもこの事態と一緒に乗り切っていきましょう。

コロナ感染症の事態で、デジタル社会が急速に進む、大都市一極集中が変わるなど、大きな変化が起こると指摘されだしています。

ポストコロナ社会です。

皆さんは、そのような「これからの社会」を生きていく世代です。

冷静な気持ちを失うことなくこの事態の成り行きをじっくり見定め、これからの社会で自分はどう生きぬいていくのかに思いを巡らせましょう。

いま私があなたなら次のように考えるでしょう。

・**情報メディア学科の皆さんへ**—これからはAI, IoT の時代と言われていますね。ポストコロナ社会の情報、メディアの本質はどう変わるか？あなた方の時代が目の前に来ていると言えますね。

・**生活環境学科/生活造形学科の皆さんへ**—生活環境はどう変わるか？人々が交流し、ファッション、デザインを愉しみ、環境をどう創るか。まちづくりのこれからは？あなた方もまたこれからの主役として期待されます。

そして**学科, 院生の皆さんへ**。人生で幾度か難局に遭遇することがあるでしょう。それに立ち向かうには知的体力と肉体的体力の両方のバランスが取れた、自分の「一生を描ききる女性力」の一層の獲得を目指して、これからも邁進してください。応援しています。